

H16.3.19 設楽ダム魚類検討会 議事概要

日 時：平成16年3月19日（金） 15時00分～17時30分

議事概要：

表 H16.3.19 設楽ダム魚類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1.設楽ダムへの思いについて	・魚類検討会の各委員より、設楽ダムに対する思いを述べて頂いた。	（各委員の設楽ダムに対する思い）	・事務局：下流のバイパスに7～8年かかるため、ネコギギの問題を7～8年で解決できればと思う。
2.生息環境保全対策試験について	・魚巢土管を用いた保全対策試験結果について報告した。	・土管以外に調査はしていくのか。 ・確認されたネコギギの雌の形態から、産卵はいつごろか推定できなかったか。	・事務局：ネコギギがいる場所の環境パラメータは残していく。 ・事務局：第一回目調査のみ卵を持っている雌が見つかっており、それ以降の調査では見つかっていない。
3.横穴利用実態調査について	・横穴利用実態調査結果について報告した。	・淵の横穴数に対するネコギギ数はどうか。もし、横穴数がネコギギ数よりかなり多ければ、魚巢土管を入れる必要はないのでは。	・事務局：ネコギギの生息条件がいいところではなく、悪いところに置けばエコアップになると考えている。
4.生息状況モニタリング調査について	・生息状況モニタリング調査結果について報告した。	・飼育下で近交弱勢が確認されている。また、個体数が少ないため、豊川のネコギギがすでに生殖能力が低い可能性がある。これらのことから、豊川のネコギギ集団を考える必要がある。	・事務局：下流の淵すべてを調査する。
5.今後の課題と検討方針について	・今後の課題と検討方針について提案した。	・情報公開について、乱獲のおそれがあるため、ネコギギの数、場所はマスクするべきである。	・事務局：今後対応する。